

** 2002年7月改訂 (第3版)
* 2001年8月改訂

日本標準商品分類番号

875200

漢方製剤

オースギ柴胡桂枝湯エキスG

さい こ けい し とう
(柴胡桂枝湯)

承認番号	(61AM) 第3883号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

貯 法：室温保存
「取扱い上の注意」
の項参照
使用期限：容器又は外箱に表示

【組成・性状】

1) 本剤は1日量7.5g中、下記生薬より抽出した水製乾燥エキス(柴胡桂枝湯エキス)3.3gを含有する。

日局 サ イ コ	5g	日局 シ ャ ク ヤ ク	2g
日局 ハ ン ゲ	4g	日局 シ ョ ウ キ ョ ウ	1g
日局 ケ イ ヒ	2.5g	日局 タ イ ソ ウ	2g
日局 オ ウ ゴ ン	2g	日局 カ ン ゾ ウ	1.5g
日局 ニ ン ジ ン	2g		

添加物として、乳糖、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウムを含有する。

2) 本剤は淡灰黄褐色～淡灰茶褐色の顆粒で、わずかににおいがあり、味は初め苦く、辛く、後やや甘い。

識別コード：SG-10

【効能又は効果】

多くは腹痛を伴う胃腸炎、微熱・寒け・頭痛・はきけなどのある感冒、風邪の後期の症状

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

(1)重要な基本的注意

- 1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

(2)相互作用

併用注意 (併用に注意すること)

薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
①カンゾウ含有製剤 ②グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。〔重大な副作用〕の項参照	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

(3)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1)重大な副作用

- ** ①間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。
- ②偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ③ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- * ④肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2)その他の副作用

- ①過敏症：発疹、発赤、痒疹、蕁麻疹等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
- ②消化器：下痢、便秘、消化不良等があらわれることがある。
- ③泌尿器：頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、膀胱炎等があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(4)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(5)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

(6)小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

(7)その他の注意

類似処方の小柴胡湯では、インターフェロン- α との併用例で間質性肺炎の副作用が多く報告されている。

【取扱い上の注意】

(貯法) 開封後は、吸湿性があるので、フタをよく閉めて保存すること。

【包装】

500 g

735 g (2.5 g \times 294 包)

210 g (2.5 g \times 84 包)

【文献請求先】

大杉製薬株式会社 医薬情報部

〒558-0056 大阪市住吉区万代東2-1-33

発売元

大杉製薬株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2

製造元

高砂薬業株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2